

認知症介護実践者(ハイブリッド)(変更)

日程	時間	教科単元名	形態	講義・演習のねらい	講師
第一日	9:30~9:50	20分	接続開始		
	9:50~10:00	10分	開講式・オリエンテーション		
	10:00~13:00	180分	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	講義・演習 認知症の人が望む生活を実現する為、認知症ケアの歴史の変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状(BPSD)の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。	松原宏樹
	13:00~13:50	50分		【昼食・休憩】	
第二日	9:50~10:00	10分	事務連絡		
	10:00~12:00	120分	地域資源の理解とケアへの活用	講義・演習 関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。	楠本美香
	12:00~12:50	50分		【昼食・休憩】	
	12:50~14:20	90分	権利擁護の視点に基づく支援	講義・演習 権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すと共に、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	楠本美香
第三日	9:50~10:00	10分	事務連絡		
	10:00~12:00	120分	生活支援のためのケアの演習Ⅰ	講義・演習 食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	松原宏樹
	12:00~12:50	50分		【昼食・休憩】	
	12:50~15:50	180分	生活支援のためのケアの演習Ⅰ	講義・演習 食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	松原宏樹
第四日	9:50~10:00	10分	事務連絡		
	10:00~11:00	60分	QOLを高める活動と評価の観点	講義・演習 認知症の人の心理的安定やQOL(生活・人生の質)向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。	楠本美香
	11:10~12:10	60分	学習成果の実践展開と共有	講義・演習 認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気付きや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取組の方向性を検討し、他の受講生と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。	楠本美香
	12:10~13:00	50分		【昼食・休憩】	
第五日	9:50~10:00	10分	事務連絡		
	10:00~12:00	120分	生活支援のためのケアの演習Ⅱ(行動・心理症状)①	講義・演習 認知症の行動・心理症状(BPSD)が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。	城山いづみ
	12:00~12:50	50分		【昼食・休憩】	
	12:50~14:50	120分	生活支援のためのケアの演習Ⅱ(行動・心理症状)②	講義・演習 認知症の行動・心理症状(BPSD)が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。	城山いづみ
第六日	9:50~10:00	10分	事務連絡		
	10:00~12:00	120分	アセスメントとケアの実践の基本①	講義・演習 認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	松原宏樹
	12:00~12:50	50分		【昼食・休憩】	
	12:50~15:50	180分	アセスメントとケアの実践の基本②	講義・演習 認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	松原宏樹
第七日	12:30~12:50	20分	受付		
	12:50~13:00	10分	事務連絡		
	13:00~16:00	180分	職場実習の課題設定(2)	講義・演習 認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。	【対面】 松原宏樹 西谷文吾 古川和子
第八日			職場実習(アセスメントとケアの実践) 4週	実習 研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる。	
	12:30~12:50	20分	受付		
	12:50~13:00	10分	事務連絡		
	13:00~16:00	180分	職場実習評価	講義・演習 アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。	【対面】 楠本美香
	16:00~16:20	20分	閉講式		